

報道各社御中 ← 環境省広報室

福島県での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う野鳥緊急
調査チームによる調査の結果について

(H28.12.15 17:30)

福島県福島市において12月2日に回収されたオオハクチョウから高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、12月13日(火)～15日(木)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況などの調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

12月13日～15日にかけて、福島県福島市の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内を中心とした渡り鳥の飛来地等の計12地点(1地点は10km圏外)において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。

なお、調査チーム派遣期間内に、福島県による当該10km圏内の監視においても検査対象となる死亡個体の回収等の異常は確認されなかった。

(参考)

○観察された鳥類 43種

うち、リスク種1 4種(オオハクチョウ、キンクロハジロ、コハクチョウ等)

リスク種2 5種(オナガガモ、マガモ、オオバン等)

リスク種3 10種(カルガモ、コガモ、カワウ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、福島県と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成28年12月15日(木)
自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
直 通：03-5521-8285
代 表：03-3581-3351
企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)
鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

東北地方環境事務所野生生物課
直 通：022-722-2876
課長補佐：西野 雄一
自然保護官：木村 慈延